

佐保台小学校 田植え体験学習

富江 文雄

今年 10 年目を迎えた佐保台小学校 5 年生たちの稲作体験学習は 6 月 7 日に実施された。

前日に近畿地方全般が梅雨入りしたと宣言され当日未明まで降り続いたがそれも上がり、曇天ではあるが、田植えにはまずまずのコンディションでした。

午前 10 時過ぎに担任の永井先生に引率された 24 名の児童たちがベースキャンプに到着。



早速田んぼの堤で靴を履き替えたが、何かしら不安な様子。まず田んぼの神様に豊作を祈って花束を奉納した。続いて全員田んぼの淵に立って、いざその中に足を踏み入れる時、中にはちゅうちょする児童がいた。

会員がまず入り、辻本事務局長の「さあ、元気に入りましょう」という掛け声に励まされて、恐る恐る入る子、思わず後ずさりする子も見られたが、会員から苗の外し方、その植え方を教えてもらって開始した。



初めはゆっくりしたペースであったが、慣れるに従い早くなって、約 40 分後には二面とも完了した。

多少のバラツキはあっても、かなり整然とした植えつけができた。



今年は、田んぼにはまっぴすぶぬれになる児童もなく順調に体験学習ができた。



足を洗ってからベースキャンプで鈴木会長の講評があり、児童たちに質問と感想を聞いた。

- 田んぼに入ってはじめて気持ちが変わったけど、慣れると良くなって楽しかった。(男子)
- 足が抜けなくなって怖かったが、その後、面白くなった。(男子)
- はじめぬるぬるして気持ち悪かったが、後で良くなった。秋の収穫が楽しみ。(女子)
- お百姓さんのお米作りのご苦労が少し分かったように思える。
- 秋の稲刈りにぜひ参加したい。

など、一様に楽しく有意義なイベントとして捉えているように思える。奈良テレビからの取材もあり(当日夕刻の放送)、みんな元気いっぱいの学習でした。今年の子どもたちは比較的に従順で熱心であったとの講評です。

最後に、豊作を再度祈り、秋の稲刈りに全員再会をちかった。

